

別記様式（第2条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	庁 議
開 催 日 時	令和4年2月14日（月）午前8時58分～午前9時13分
開 催 場 所	301会議室
出席者及び 欠 席 者	出席者：市長、副市長、教育長、企画財政部長、総務部長、市民部長、 協働推進部長、協働推進部環境担当部長、健康福祉部長、健康 福祉部高齢・障害担当部長、子ども家庭部長、都市整備部長、 都市整備部建設管理担当部長、教育部長、教育部学校教育担当 部長、議会事務局長、会計管理者 欠席者：なし 説明員：財政課長
議 題	1 令和4年度武蔵村山市各会計予算（案）について 2 その他
結 論 （決定した方 針、残された問 題点、保留事項 等を記載する。）	議題1：原案のとおり決定する。 議題2：特になし。
審 議 経 過 （主な意見等を 原則として発言 順に記載し、同 一内容は一つに まとめる。） （発言者） ○印=構成員 ●印=説明員	議題1 令和4年度武蔵村山市各会計予算（案）について （企画財政部長説明） 令和4年度武蔵村山市各会計予算（案）については、令和4年度 の一般会計予算、4つの特別会計予算及び公営企業会計予算につ いて決定をいただくものである。 なお、予算編成に当たっては、皆様の多大なる御理解、御協力を いただき、感謝申し上げます。 具体的な内容については、財政課長から説明申し上げます。 （財政課長説明） 資料「令和4年度 武蔵村山市各会計予算（案）について」に基づ き、説明する。 1ページの「1 予算規模」についてであるが、一般会計と4つの 特別会計、公営企業会計を合わせた予算規模は、前年度に比べて5. 5%増の479億8,182万9千円で、当初予算額としては、過去 最大規模となった。 一般会計は、前年度に比べて5.8%増の302億8,047万 9千円で、当初予算額としては、300億円の大台に乗り、過去最 大規模となった。 特別会計は、都市核地区土地地区画整理事業特別会計を除く会計が 増加したことにより、前年度に比べて4.2%増の164億5,4

8 2 万 2 千 円 と な っ た。

公営企業会計は、前年度に比べて14.0%増の12億4,652万8千円となった。

2ページについてであるが、令和3年10月1日付の依命通達「令和4年度予算編成方針」の予算の基本方針部分を抜粋して記載している。

5ページの「5 一般会計歳入予算のポイント」についてであるが、増減額の大きな項目について、説明する。

「ポイント1 市税（現年課税分）の状況」については、新型コロナウイルス感染症対策に係る軽減措置の終了等により、3.2%増の101億691万8千円で、2年ぶりに100億円台を回復した。

9ページの「ポイント4 地方特例交付金の状況」については、新型コロナウイルス感染症対策に係る軽減措置の終了等により、66.2%減の9,215万4千円となった。

10ページの「ポイント5 地方交付税の状況」については、普通交付税が令和3年度とほぼ同額で、特別交付税が公的病院等運営費補助金に係る措置割合の変更等により、15.6%減の1億3,500万円となった。

11ページの「ポイント6 使用料及び手数料の状況」については、家庭ごみ有料化に伴う家庭廃棄物処理手数料等の増により、63.4%増の4億3,763万円となった。

12ページの「ポイント7 繰入金状況」は、財政調整基金繰入金等の増により、114.4%増の12億2,761万1千円となった。

13ページの「ポイント8 市債の状況」は、(仮称)防災食育センター施設整備事業に係る市債の増により、14.6%増の14億9,461万9千円となった。

次に、14ページの「6 一般会計歳出予算のポイント」についてであるが、増減額の大きな項目について、説明する。

「ポイント1 義務的経費の状況」の扶助費は、自立支援給付経費等の増により、1.2%増の113億5,781万円となった。

15ページの「ポイント2 普通建設事業費の状況」は、(仮称)防災食育センター施設整備事業等の増により、55.6%増の16億2,510万6千円となった。

16ページの「ポイント3 その他の経費の状況」は、物件費が、子宮頸がん予防接種経費やごみ処理経費等の増により、12.6%増の44億7,388万8千円、補助費等が、小平・村山・大和衛生組合負担金等の減により、6.8%減の31億4,375万2千

円となった。

21ページの「11 一般会計継続費」は、(仮称)防災食育センター施設整備事業について、「12 一般会計債務負担行為(令和4年度設定)」は、ふるさと納税支援業務委託など18事業について設定している。

23ページの「13 一般会計市債」については、大南地区学習等供用施設照明器具LED化事業など13事業を予定している。

24ページの「14 一般会計市債残高の状況」については、その他の区分に含まれている臨時財政対策債の残高が増えていることから、令和4年度末の地方債残高は、150億円台になる見込みである。

25ページの「15 多摩都市モノレール関連事業」については、沿線まちづくり事業等として、各種事業を予定している。

26ページの「16 新型コロナウイルス感染症対策事業」については、当初予算に計上している生活困窮者自立支援金の支給事業等を記載している。

なお、現在、各部課長宛てに令和4年度一般会計補正予算(第1号)の通知を発出しているところだが、国の地方創生臨時交付金を活用した事業については、補正予算(第1号)に計上する予定となっているため、当初予算に計上している事業については、本資料に記載したもののみとなっている。

27ページの「17 一般会計等の主な事業(④実施計画事業)」は、新規又は充実事業を抜粋したものとなっている。

なお、④実施計画が広資料で既に配布されていることから、内容の説明は省略させていただく。

32ページの「18 一般会計等の主な事業(その他の事業)」は、実施計画事業以外の新規充実事業を款ごとに記載している。

32ページが総務費、33ページが民生費、34ページが衛生費、35ページが教育費及び介護保険特別会計となっている。

36ページの「19 基金」の「(1) 積立基金(一般会計関連)」については、各基金の状況を示したものとなっている。

なお、財政調整基金の令和4年度末現在高見込額は、14億3,757万7千円と記載されているが、2月11日に令和3年度一般会計補正予算(第11号)の計上内容を若干変更することとなったため、本資料に記載されている見込額とは異なる。

38ページの「20 特別会計」については、38ページが国民健康保険事業特別会計、39ページが介護保険特別会計、40ページが都市核地区土地区画整理事業特別会計、41ページが後期高齢者医療特別会計となっている。

	<p>42ページの「21 公営企業会計」については、下水道事業会計を記載している。</p> <p>なお、本資料については、決算の推移などの資料を加えた上で、2月16日に広資料として配布する予定である。</p> <p>参考資料の「令和4年度一般会計予算案予算額と12月予算調整後額との比較」についてであるが、予算額の異動状況をまとめているので、後ほど御参照いただきたい。</p> <p>説明については以上である。</p> <p>(質疑等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先ほど、説明の中で、令和3年度一般会計補正予算(第11号)の見込額が、本資料に記載されている内容と異なると説明があったが、どの程度見込額が変わるのか。 ● 財政調整基金の額が数百万円程度変わる予定である。 <p>(結論)</p> <p>原案のとおり決定する。</p> <p>議題2 その他 特になし。</p>
--	--

会議録の開示 ・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開 示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等:) <input type="checkbox"/> 非 開 示 (根拠法令等:)
------------------	--

庶務担当課	企画財政部 企画政策課 (内線: 372)
-------	-----------------------

(日本産業規格A列4番)